

## 跡見学園女子大学マネジメント学部見学時におけるエコチル調査の説明報告

エコチル調査メディカルサポートセンター 正田哲雄

2015年8月6日に跡見学園女子大学マネジメント学部の学生の方々が国立成育医療研究センターに見学にいらっしやいました。その際に、エコチル調査についての説明をする機会をいただきました。

跡見学園女子大学（あとみがくえんじょしだいがく、英語: Atomi University）は、1965年に設置された東京都文京区大塚に本部を置く日本の私立女子大学です。毎年、この時期にマネジメント学部の大学生数名が国立成育医療研究センターに来所され、施設内の見学や医師・研究員による講義を受けています。

「今、子供たちの体にどのようなことが起こっているのか」いくつかの例を挙げ説明した後、エコチル調査の概略とアレルギー疾患を例に挙げて疫学研究についての解説をしました。大学生にとっては年齢的に、あまりなじみのない内容であったかもしれませんが、アレルギー疾患については、ご自身あるいは友人・家族で困っていることもあるようで、活発な質疑応答も含め大変関心をもって聞いて頂けた様子でした。「現代経営学」「マネジメント」(management)の発明者ドラッカーは、その著書『マネジメント』の中で「マネジメントに必要な唯一の資質は真摯さ」述べておりますが、発表者の真摯さが大学生のみなさんにも伝わったものと思います。

エコチル調査には、環境物質と健康の関連を解明していく目的がありますが、将来的にその研究データを活用して頂く若い方々への認知度は高いものではありません。広く周知し、関心をもって頂いたり、支援して頂いたりすることで、エコチル調査自体の意義が益々深まることを再確認いたしました。

